



北山田小だより

横浜市立北山田小学校 592-0061

異学年交流を通して

校長 中村レイ子

目に鮮やかな新緑の季節となりました。

子どもたちは新しい学年にも慣れて、新しい学級の中で個性を發揮しはじめています。

ぜひ、学校での子どもたちの様子をご覧いただけたらと思います。

さて、今月は学校の教育目標についてふれてみたいと思います。

本校では教育活動の大きな柱の一つとして、異学年の交流を重視した取り組みを進めています。年間を通して、集会や交歓給食を実施したり、全校遠足で異学年グループを編成して楽しく一日が過ごせるようにしたりしています。本年度は、委員会活動や各種行事においても、子どもたちの発想を生かして、より主体的に活動できるように配慮しながら、異学年の交流を工夫していきたいと思っています。

この取り組みは、

学校教育目標

- 子どもたちの好奇心や発見する目を大切にします。
- 互いのよさを生かし、認め合うことを大切にします。
- 「まち」とのふれあいを大切にします。

と、密接にかかわってきます。当然のことですが、学校での全教育活動は、どこかで学校教育目標とつながってきます。本校で、年齢の違う子どもたちの交流を特に重視しているのは、子どもたちの興味・関心を大切にしながら社会性を身につけさせたいという願いに基づいています。

社会性の基礎や人間関係能力は、さまざまな人とのかかわりの中で育まれるものです。少子化や核家族化で、人間関係の絶対量が不足しているといわれている今、人とのかかわりを広めたり深めたりすることが必要になってきています。家族以外のまちの人々とさまざまな場面で出会うことをきっかけとして、お互いに挨拶や言葉を交わしあうことが日常化していくことで、かかわり方を学び、かかわりを深め、まちの人々の豊かな人間性にふれて思いやりの心も育っていくものと考えています。

異学年交流を通して培われた力は、下校時に見守っていただいている山田富士クラブ（敬老会）の皆様との交流やさくらまつりでソーラン節を踊った6年生とまちの方々とのふれあいの中でというように、学校の外でもどんどん発揮されています。やがて大人になっていく子どもたちのふるさと「北山田」を大切に思う気持ちにつなげながら。

私たちは、子どもたちが異学年やまちの人々との交流を通して、自分のよさや友達・周囲の人々のよさを見だし、かかわりを深め、共に生きていこうという気持ちを持って生きていく人間に育ってほしいと願っております。

職員一同、気持ちを新たに学校教育目標の達成に向け取り組んでまいります。地域の皆様・保護者の皆様には本年度もご理解とご支援のほどよろしくお願い申し上げます。